

平成 23 年 度

事 業 報 告 書

財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑の事業	1
1 馬の博物館の事業	1
(1) 特別展示等	1
(2) テーマ展	2
(3) 常設展示	2
(4) 馬事博物資料等の調査・研究	2
(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行	2
(6) 馬事博物資料の収集	2
① 購入した資料	2
② 寄贈を受けた資料	3
(7) 資料の貸出	3
(8) 資料の管理・保管	4
(9) 普及イベント	4
① シンポジウム「戦国時代の交通を考える」	4
② 「夏休み自由研究相談」、「工作教室」等	4
③ 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」	4
(10) 馬に関する講習等	4
① 講習	4
② 学芸員課程学生の博物館実習	5
2 馬展示事業	5
(1) 馬の展示	5
(2) 体験学習	5
① 入館者を対象とした馬の試乗会の開催	5
② にんじんタイムの開催	5
③ 体験学習講座の開催	5
④ その他の協力	6
(3) 春秋特別催物の開催	6
(4) 展示馬及び厩舎の管理等	6
3 馬文化の保存	6
(1) 馬事伝統行事保存事業	6
(2) 在来馬種保存事業	6
4 施設の管理運営及び公苑の整備	6
5 入館者・入苑者	7

II	J R A 競馬博物館の事業	7
1	展示及び調査・研究	7
(1)	ギャラリー	8
(2)	テーマコーナー	8
(3)	特別展示室	8
(4)	エントランスホール	8
(5)	メモリアルホール	9
(6)	移動展示	9
(7)	常設展示の改修	9
(8)	映像ホール	9
(9)	競馬博物資料等の調査・研究	10
(10)	寄贈を受けた主な資料	10
(11)	資料の収集及び収蔵物の管理・保存	11
(12)	その他	11
2	案内業務及び入館者	11
III	競馬振興会館 (Gate J.) の事業	12
1	Gate J. 新橋の事業	12
2	Gate J. 梅田の事業	12
3	入館者	12
IV	広報活動	13
1	馬の博物館	13
2	J R A 競馬博物館	13
3	Gate J. 新橋・梅田	13
V	J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	13
VI	庶務	13
1	役員等に関する事項	13
(1)	役員	13
(2)	評議員	14
(3)	参与	14
(4)	職員及び組織図	14
2	理事会及び評議員会	15
(1)	理事会	15
(2)	評議員会	15

平成 23 年度 事 業 報 告

平成 23 年度における事業の実施については、事業計画に基づき当財団寄附行為第 3 条の目的を達成するため、根岸競馬記念公苑 馬の博物館においては、博物館法による登録博物館として馬に関する学術や文化の発展に寄与するように努め、JRA 競馬博物館においては、競馬ファンの期待に応え、競馬の社会的・文化的発展のため、積極的な活動を行いました。

また、競馬振興会館（Gate J.）新橋・梅田の両施設の事業を、財団法人全国競馬・畜産振興会から 11 月 1 日に承継し、事業活動を行いました。

なお、夏期においては、未曾有の被害をもたらした東日本大震災と原発事故の影響に伴い、積極的に節電に協力しました。

I 根岸競馬記念公苑の事業

1 馬の博物館の事業

(1) 特別展示等

平成23年度は、大震災の影響から春季以降の特別展、企画展、テーマ展について大幅に日程を組み替えました。春季に予定していた特別展『神田日勝 北の大地から一馬と歩んだ画業』は、準備が整った秋季に移行し開催しました。本展では日勝の処女作〈瘦馬〉をはじめ、代表作〈室内風景〉や絶筆とされる〈馬〉、そして首都圏では初公開となる小作品等、油彩・素描あわせて約40点を展示、また道民の暮らしを助けた農耕馬についても併せて紹介しました。

秋季は企画展示として『ススメ！小田原北条氏』を開催しました。同展も会期を予定より約1ヶ月繰り下げて実施しました。本展は関東地方に勢力を拡張させた小田原北条氏（後北条氏）における陸上交通を取り上げました。戦国時代は、常に合戦があつて地域が荒廃したように思われていますが、実際には戦いの数は多くありません。逆に、戦国大名の領国が発展することにより、幹線網の整備・拡充が行われています。馬による物資の輸送が本格化し、街道がにぎわう様子を、様々な資料により紹介しました。

なお、12月には、第2展示室の各展示ケースの安全確保、老朽化対策として、飛散防止フィルムの貼付及び経師張替えの改修工事を行いました。

	展示期間	展示タイトル	展示場所
春季	9. 17～10. 16	神田日勝 北の大地から一馬と歩んだ画業	第 2・3 展示室
秋季	10. 23～12. 4	ススメ！小田原北条氏	第 2 展示室

(2) テーマ展

	展示期間	展示タイトル (第2展示室)	展示タイトル (第3展示室)
1	1.5～2.13	馬と暮らす	秋山好古と明治の騎兵
2	2.17～5.8	競馬学校展	文様に見る馬の工芸品
3	5.14～9.11	絵馬と玩具と馬頭観音 —栗田直次郎コレクションより—	浮世絵 うまワールド 其ノ壺 没後100周年 周延と上野不忍池競馬 其ノ式 没後150年 歌川国芳と門人たち 其ノ参 生誕220年 溪斎英泉と木曾街道
4	10.23～12.4	企画展開催	戦国合戦の錦絵
5	12.10～12.25	(改修工事のため閉鎖)	馬と競馬のカレンダー

(3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第1展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第2展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第4展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

	目的	場所
1	平成24年度特別展「古式競馬」に関する調査・出品交渉	奈良国立博物館、京都国立博物館、サントリー美術館、上賀茂神社、春日大社、静嘉堂文庫美術館、和泉市久保惣記念美術館
2	「郡山城受取図屏風」関係資料等に関する調査	亀岡市文化資料館、京都府立総合資料館、京都市歴史資料館、山梨県立博物館
3	平成24年度企画展「スーホの白い馬」に関する調査・出品交渉	日本科学未来館

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	神田日勝 北の大地から—馬と歩んだ画業
2	図録	ススメ！小田原北条氏

(6) 馬事博物資料の収集

資料の購入は、財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、行いました。

- ① 購入した資料（1点 50万円以上）

	資 料 名		
1	井伊の赤備え図屏風	6 曲 1 双	小山栄達筆
2	源平合戦図絵巻	2 巻	狩野探信筆
3	騎射図屏風	2 曲 1 双	
4	母仔馬	1 点	坂本繁二郎筆
5	早馳明神御正躰	1 面	
6	東海道五十三駅	14 枚	安田雷洲筆

② 寄贈を受けた資料

	資 料 名		
1	井上喜久子氏馬術関係資料	12 件	
2	三井高義作石膏原型	43 体	
3	トーマス・ホーランド作馬像他	2 体	〈池本敏子氏〉
4	池田勇八作馬像	1 体	〈住吉綾子氏〉
5	伊藤國男作馬像	1 体	〈山田哲郎氏〉
6	北九州市立自然史・歴史博物館出版物	28 冊	
7	小絵馬 (馬の陶絵馬)	1 体	

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸 出 先	貸出期間
1	馬像 ドガ作「前肢を上げる馬」 他 2 件	横浜美術館	H22. 9. 8 ～1. 14
2	馬頭模型 他 20 件	広島市郷土資料館	H22. 11. 5 ～1. 21
3	ペガサス形金器複製 1 点	古代オリエント博物館	H22. 12. 16 ～2. 19
4	賤ヶ岳合戦図屏風 1 件	江戸東京博物館	H22. 12. 16 ～2. 25
5	第 12 回東京優駿優勝馬主賞品「日本刀」 1 式	靖国神社遊就館	2. 2～10. 25
6	鉄道馬車模型 1 式	江戸東京博物館 (東京都交通局)	7. 7～9. 22
7	駅鈴複製 他 1 件	葛飾区郷土と天文の 博物館	7. 15～9. 18
8	インド・グプタ朝期金貨 他 1 件	古代オリエント博物館	7. 13～9. 8
9	馬像 ドガ作「荷を引く馬」 他 52 件	神田日勝記念美術館	9. 9～10. 27
10	保元合戦図屏風 他 1 件	熊谷市立熊谷図書館	9. 2～11. 20

11	平治物語図絵巻 他 4 件	江戸東京博物館 神戸市立博物館 広島県立美術館	12.18～ H24.6
----	---------------	-------------------------------	-----------------

(8) 資料の管理・保管

新規登録の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。

害虫対策として、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室の床面消毒を実施しました。(8月28、29日)

所蔵資料を種別に整理・保管するため、収納棚を製作し、収蔵庫内に設置しました。

(9) 普及イベント

① シンポジウム「戦国時代の交通を考える」

10月29日に、企画展『ススメ！小田原北条氏』の関連企画として開催しました。

② 「夏休み自由研究相談」、「工作教室」等

夏休み期間中の子供向け企画として、下記の4つの行事を実施しました。

○ 馬に関する質問や宿題等の相談に応じる「自由研究相談」

(7月24日、31日、8月7、14、21日)

○ 馬のペーパークラフトを組み立てる「工作教室」

(8月7、21日)

○ 蹄鉄を用いた「工作教室～コースターをつくろう」

(8月14日)

○ 公苑や展示に関する問題等を出題した「クイズラリー」

(7月23日～8月7日)

③ 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」

11月20日に、横浜市等が主催する「クラシック・ヨコハマ2011」の一環として、ファミリー向けのクラシックコンサートを実施しました。

(10) 馬に関する講習等

① 講習

神田日勝記念美術館や日本中央競馬会馬事公苑の依頼により馬事文化を普及・啓蒙する講義を依頼先にて実施しました。

装蹄師教育センター研修生等の教育カリキュラムの中に「馬の博物館見学」が組み込まれており、来苑の際には馬文化や競馬の歴史・博物資料等についての講義を実施しました。

また、畜産・獣医学等の専攻科目を有する大学等（東京農業大学・日本獣医生命科学大学・国際動物専門学校）の校外学習の受け入れ

に積極的に応じ、見学学生の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。

② 学芸員課程学生の博物館実習

5 大学より 5 名の実習生を受け入れました。

(8 月 19 日～9 月 1 日)

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館活動の一環として、実馬展示を実施しました。

多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等の他、馬の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を整えました。

繋 養 馬 一 覧 表 (平成 23 年 12 月 31 日現在)

(入厩順)

馬 名	毛色	生 年	年 齢	性別	産地	体高	品 種
マークス	尾花栗毛	1992年5月	19	セン	標茶町	141cm	ハフリンガー
マロン	栗	1993年6月	18	牝	和歌山	72cm	アメリカンミニチュアホース
ジャスミン	鹿	1995年3月	16	牝	遠野市	160cm	セルフランセ
ペルニー	茶斑	1997年(推定)	14	セン	不詳	102cm	中半ポニー
ダルトニアン	鹿	1997年3月	14	セン	USA	159cm	サラブレッド
ダンサー	栗	1992年	19	セン	アイルランド	164cm	I R I S H
グッバイレディ	芦	1993年4月	18	牝	標茶町	161cm	ウエストファーレン
シンザンパーク	鹿	1994年3月	17	セン	三戸郡	154cm	アングロアラブ

(2) 体験学習

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるため、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下の体験学習を実施しました。

① 入館者を対象とした馬の試乗会の開催

毎月第 1 日曜日と第 3 日曜日 (11 月～3 月の冬季は第 3 日曜日のみ実施) に、当日の馬の博物館入館者を対象とした馬の試乗会と馬車の試乗会を開催しました。

② にんじんタイムの開催

毎週土曜日、馬に直接触れ親しむ機会の一つとして、自らにんじんとを与え、馬に触れられる癒しの場を提供しました。

③ 体験学習講座の開催

夏休み期間を利用し、小学校の高学年児童を対象に、馬についての基礎的な学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う『夏休み一日愛馬教室』を3日間開催しました。(8月24～26日)

④ その他の協力

幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬についての説明の他、自らにんじんを与えたり、馬に触れたり、馬に親しめる癒しの場を提供しました。

(3) 春秋特別催物の開催

春季は『馬とあそぼうこどもの日』、秋季には『馬とのつどい2011』を開催しました。春季は、日本中央競馬会競馬学校の協力を得て「蹄鉄造りの実演」の他、伝統馬事芸能の紹介として神奈川県鎌倉市の大日本弓馬会による「流鏝馬・笠懸」の演技を披露しました。秋季には、日本中央競馬会馬事公苑の協力を得て「ロングレーン」の演技の他、伝統馬事芸能の紹介として春駒じゅり馬民俗芸能研究会による「琉球民俗舞踊・じゅり馬踊り」を披露しました。

月日	催物	内 容
5.5	馬とあそぼう こどもの日	流鏝馬の演技、装蹄作業・蹄鉄造りの実演、馬・馬車の試乗会、野点体験、ふれあい動物園 他
10.16	馬とのつどい2011	ロングレーン(ポニーの演技)、琉球民俗舞踊の演技、装蹄作業・蹄鉄造りの実演、大道芸、馬・馬車の試乗会、秋華賞勝ち馬予想、似顔絵プレゼント 他

(4) 展示馬及び厩舎の管理等

展示馬の健康管理については体温・挙動等に常に留意し、伝染病予防接種などの防疫管理や、馬房を清潔に保ち厩舎の定期消毒・害虫駆除を行うなど衛生管理に努めました。

3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

我が国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事等の保存並びに振興を図るため、馬事伝統行事を行う42団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

財団法人全国競馬・畜産振興会から事業承継を受け、在来馬種保存事業を実施することとなりました。

4 施設の管理運営及び公苑の整備

公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。また、草花の植栽や樹木の剪定等を行い公苑の美化に努めました。

5 入館者・入苑者

平成 23 年度の総入館者数は、東日本大震災に伴う休館や、節電協力のため、開館時間を短縮したこと等により、前年に比べ約 13%の減少となりました。

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	24日	916	299	87	1,302	54	24日	15,480	645
2月	22日	1,078	228	344	1,650	75	24日	16,210	675
3月	23日	647	207	122	976	42	24日	14,890	620
4月	27日	1,583	425	389	2,397	89	27日	36,070	1,336
5月	23日	2,420	1,406	660	4,486	195	27日	24,240	898
6月	26日	578	179	317	1,074	41	26日	15,790	607
7月	28日	563	184	19	766	27	28日	11,190	400
8月	22日	549	195	42	786	36	26日	9,400	362
9月	23日	915	283	313	1,511	66	27日	16,940	627
10月	22日	2,144	822	897	3,863	176	27日	22,030	816
11月	26日	1,018	235	331	1,584	61	26日	18,100	696
12月	18日	590	208	230	1,028	57	23日	10,820	470
23年 計	284日	13,001	4,671	3,751	21,423	75	309日	211,160	683
22年 計	293日	14,949	5,836	3,777	24,562	84	313日	236,080	754
対前年 比(%)	96.9	87.0	80.0	99.3	87.2	89.3	98.7	89.4	90.6

※3月12日、15日～18日 東日本大震災の影響により臨時休館

* 1日最高入館者 2,704人 5月5日

* 1日最高入苑者(概数) 4,000人 5月5日

* 教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般	競馬関係
193	480	28	1,799	7	289	52	840	63

II J R A 競馬博物館の事業

1 展示及び調査・研究

春季には、平成元年以降のG I、J p n I、J・G I競走のなかから、入館者投票によって選出された上位23レース(第19位タイまで)を紹介する『平成の大接戦～語り継がれる名勝負の数々』展を開催しました。同展では、決勝線の判定写真や当時のスポーツ紙・予想紙等の関連資料に加え、関係者のコメントをレース映像とともに紹介しました。

秋季は、J R A競馬博物館開館20周年に合わせ、20世紀末から今世紀にわたる競馬の歩みを取りあげた『日本競馬20年のあゆみ』展を、社

団法人中央競馬振興会と共催しました。同展では、日本馬と日本人騎手の海外での活躍、中央と地方との交流、新たな勝馬投票等のトピックスを紹介するとともに、往年の名馬・名騎手を回顧しました。

またウオッカ号が新たに顕彰馬に選出された際には、その栄誉を称え、功績を伝えるため、馬像や絵画が完成するまでの速報紹介として、プロフィール、写真パネルや実物資料を展示しました。

いずれも、ファンの興味をひく内容であり、幅広い関心を集めることができました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	H22. 12. 4～4. 17	第 8 回ホースフォトグラフ展 藤岡祥弘・坂口誠司・國廣陽子の世界
2	4. 27～9. 19	平成の大接戦～語り継がれる名勝負の数々
3	9. 23～11. 27	日本競馬 20 年のあゆみ ～競馬文化の広がり と国際化～ (J R A 競馬博物館開館 20 周年記念)
4	12. 3～H24. 4. 15	第 9 回ホースフォトグラフ展 小沢寛樹・武田明彦・畠中良晴の世界

(2) テーマコーナー

	展示期間	展示タイトル
1	H22. 10. 6～2. 3	馬券のあゆみ
2	2. 5～3. 11※	2010 年度 J R A 賞展
3	4. 1～10. 2	華やかなる勝負服 Part1
	10. 5～H24. 2. 2	華やかなる勝負服 Part2

※東日本大震災に伴う競馬開催自粛等により会期中途中で閉幕

(3) 特別展示室

	展示期間	展示タイトル
1	4. 27～9. 19	平成の大接戦～語り継がれる名勝負の数々
2	9. 23～11. 27	日本競馬 20 年のあゆみ ～競馬文化の広がり と国際化～ (J R A 競馬博物館開館 20 周年記念)

(4) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	H22. 11. 20～2. 11	第 30 回ジャパンカップ展
2	2. 12～5. 26	2011 年度新人騎手紹介展
3	4. 27～6. 5	ドバイワールドカップ優勝おめでとう！ ヴィクトワールピサ展

4	5. 27～6. 9	祝 ウオッカ号 殿堂入り記念展
5	6. 11～9. 4	第 78 回日本ダービー優勝馬展
6	10. 15～11. 24	シンボリルドルフ号追悼展
7	11. 5～12. 4	おめでとう三冠オルフェーヴル号展
8	11. 25～H24. 2. 9	第 31 回ジャパンカップ展

(5) メモリアルホール

	展示期間	展示タイトル
1	6. 9～11. 27	祝 ウオッカ号 殿堂入り記念展

(6) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	H22. 12. 4 ～1. 23	創設 30 回記念ジャパンカップ展	阪神競馬場アメニティホール
2	H22. 12. 11 ～5. 22	2010 年春の G I プレイバック展	東京競馬場フジビュースタンド 3F (ウエストホール両脇)
3	5. 28～11. 20	2010 年春&秋の G I プレイバック展	
4	11. 26～ H24. 2 月下旬	シンボリルドルフ号追悼展	
5	12. 3 ～H24. 1. 22	日本競馬 20 年のあゆみ展&祝 ウオッカ号 殿堂入り記念展	阪神競馬場アメニティホール

(7) 常設展示の改修

第 78 回日本ダービー優勝馬オルフェーヴル号の展示パネル等を更新改修しました。

また、常設展示機器「重賞競走ビデオ BOX」には、平成 23 年度分の重賞競走映像を追加しました。

常設展示機器「よみがえる名馬」には、新たに顕彰馬に選出されたウオッカ号のオリジナルビデオを製作・追加しました。

メモリアルホール顕彰者コーナーに、各顕彰者の主要な管理馬・騎乗馬のレース写真パネルを製作・追加しました。

(8) 映像ホール

立体全周映像第 3 作「チャッピーとエミの大冒険～サラブレッドの始祖を求めて～」を上映しました。

また、8 月 10 日から平成 24 年 1 月 9 日には、開館 20 周年記念イベントとして、過去の全周映像の中から特に評価の高い 4 作品のリバイバル上映を行いました。10 月 8 日から 11 月 27 日の東京開催日には、観覧者を対象にオリジナルグッズが当たる三角くじの配布も行いました。

〈上映品目〉

[立体全周映像] 1月5日～8月7日

タイトル
チャッピーとエミの大冒険 ～サラブレッドの始祖を求めて～(2009年作品)

[全周映像リバイバル上映]

タイトル
①8.10～9.11 Wind on Green (1991年作品)
②9.14～10.16 ブローニュの森の夢 華麗なる凱旋門賞 (1997年作品)
③10.19～11.20 The Season～女王陛下と馬たちの祝祭 (1998年作品)
④11.23～H24.1.9 Run for the Roses～The 122nd Kentucky Derby (1996年作品)

(9) 競馬博物資料等の調査・研究

『平成の大接戦』、『日本競馬20年のあゆみ』展等特別展示開催のため、日本中央競馬会美浦・栗東トレーニング・センター、馬の博物館において調査を行いました。また、平成24年度春季特別展示開催準備のため、カントリー牧場、家畜改良センター新冠牧場、ノーザンファーム、ノーザンホースパーク、小岩井農場において調査を行いました。

(10) 寄贈を受けた主な資料

	資 料 名
1	第78回日本ダービー優勝馬馬主服
2	第78回日本ダービー優勝騎手使用鞭
3	第72回菊花賞優勝馬馬主服
4	第72回菊花賞優勝騎手使用鞭
5	第31回ジャパンカップ優勝馬馬主服(複製)
6	第31回ジャパンカップ優勝騎手使用鞭
7	第1回ジャパンカップ報道用帽子(W. シューメーカー氏サイン入り)
8	シンザン号蹄鉄 日本ダービー優勝時装着
9	アメリカ競馬雑誌「サラブレッドレコーズ 1967～1999」872冊
10	2011年ドバイワールドカップ 騎乗騎手サイン入りゼッケン
11	2011年ドバイワールドカップ 関係者サイン入りレーシングプログラム
12	2011年英ダービー カールトンハウス号関連資料
13	2011年ロイヤルアスコット レーシングプログラム
14	2011年クイーンエリザベスⅡ世カップ ポロシャツ
15	2010年香港国際競走 ブルゾン
16	2006年凱旋門賞 現地新聞
17	2011年凱旋門賞 レーシングプログラム

18	支那事變軍馬寫眞帖
19	馬人形（平井雄二元調教師所蔵）一式

(11) 資料の収集及び収蔵物の管理・保存

- 英ダービー優勝馬画像の収集を行いました。
- 競馬を描いた版画等の収集を行いました。
- 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- 図書・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。

(12) その他

7月27日、日本中央競馬会等による就活イベント「牧場で働こうフェア」に協力、立体全周映像上映・館内案内等を実施しました。

また、10月5日から21日及び12月7日から21日に開催された日本経済新聞社の企画「美しい!速い!強い!競馬記者のサラブレッド講座」2011シリーズ（日本経済新聞社本社ビル アートギャラリー及び展示スペース）に協力して、『平成の大接戦』展等の展示パネルや競走用馬具等の貸出を行いました。

2 案内業務及び入館者

総合案内所をはじめ館内各所にインストラクターを配置し入館者に対し案内業務を行いました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備 考		
				開催日	場外発売	平日
1月	17日	5,382	317	2日	8日	7日
2月	18日	8,679	482	6日	3日	9日
3月	8日	1,514	189	0日	2日	6日
4月	17日	2,157	127	0日	4日	13日
5月	17日	7,692	452	4日	0日	13日
6月	22日	7,846	357	4日	4日	14日
7月	15日	2,740	183	0日	8日	7日
8月	21日	2,561	122	0日	8日	13日
9月	22日	5,565	253	0日	9日	13日
10月	22日	16,803	764	9日	2日	11日
11月	21日	13,907	662	8日	0日	13日
12月	16日	5,716	357	0日	8日	8日
23年計	216日	80,562	373	33日	56日	127日
22年計	239日	104,085	436	40日	65日	134日
前年比 (%)	90.4	77.4	85.6			

※3月12日～31日 東日本大震災に伴う競馬開催自粛並びに節電のため臨時休館 また4月16日～5月15日の土・日の間、節電のため臨時休館

※7月6日～7月15日 燻蒸消毒及び館内整備のため臨時休館

*1日最高入館者数

開催日 4,847人 11月27日 (ジャパンカップ)
 場外発売日 1,516人 12月25日 (有馬記念)
 平日 531人 5月4日

*1日平均入館者数/総入館者数

開催日 1,420人/46,873人
 場外発売日 388人/21,702人
 平日 94人/11,987人

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般	競馬関係
458	237	267	139	40	47	133	2,287	1,589

Ⅲ 競馬振興会館 (Gate J.) の事業

11月1日より、Gate J. 新橋・梅田において以下の事業を行いました。

1 Gate J. 新橋の事業

- ① 施設内の壁面を活用し、パネル展示『洋式競馬のあゆみ (横浜編)』及び『おめでとう三冠 オルフェーヴル号展』を行いました。
- ② 中央競馬のG I 競走等の情報を発信するため、トークショーやウィングズでの出張イベント等を計15回実施しました。
- ③ 大型画面を利用し、主に中央競馬中継のほか、競馬情報番組や馬の博物館所蔵資料の紹介を行いました。

2 Gate J. 梅田の事業

- ① 施設内に仮設壁を設置し、パネル展示『洋式競馬のあゆみ (神戸・函館・札幌編)』を行いました。
- ② 中央競馬のG I 競走等の情報を発信するため、トークショーやウィングズでの出張イベント等を計4回実施しました。
- ③ 大型画面を利用し、中央競馬中継のほか、競馬情報番組や馬の博物館所蔵資料の紹介を行いました。

3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
11月	23日	11,277	460	18日	27,971	1,554
12月	24日	13,600	567	17日	33,912	1,995
計	47日	24,877	529	35日	61,883	1,768
年度合計 (参考)	287日	127,360	444	189日	329,584	1,600

*1日最高入館者数 (11~12月)

Gate J. 新橋 831人 11月25日
 Gate J. 梅田 3,870人 12月26日

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① 日本中央競馬会各事業所、マスコミ関係、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 特別展開催前日には内覧会を実施し、開催周知を図りました。
- ③ テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ④ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。
- ⑤ 12月10日から有料入館者を対象に、「Gate J. オリジナルカレンダー」を一人一部ずつ配布し、厳寒期における入館者増対策及び Gate J. の宣伝、広報に努めました。

2 J R A 競馬博物館

- ① 競馬実況映像メディアや日本中央競馬会発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ② 博物館専用看板を利用し広報活動を展開しました。
- ③ テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ④ 旅行者に展示情報を随時通知し来館誘致に努めました。
- ⑤ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。
- ⑥ 10月8日から11月27日の東京競馬開催日に、開館20周年記念イベントとして、館内でクイズラリーを実施し、顕彰馬クリアファイルセット特別版（5枚組）の配付を行いました。
- ⑦ オリジナルカレンダーを制作し、クイズラリー・アンケート参加記念品として入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。

3 Gate J. 新橋・梅田

- ① オリジナルカレンダーを制作し、イベント参加者や他の競馬場等へ配布しました。
- ② ホームページにイベント情報等を随時更新し、来館促進を図りました。

V J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

日本中央競馬会から業務委託を受けて、同会が主催している J R A 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

VI 庶務

1 役員等に関する事項（平成23年12月31日現在）

(1) 役員

役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	田村 正明	H19. 10. 1		
専務理事	長澤 良信	H22. 3. 26		
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1		
理事	小川 欽司	H15. 10. 1		非常勤
理事	山崎 郁夫	H15. 10. 1		非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23		非常勤
監事	大橋 広志	H22. 3. 14	H23. 2. 28	非常勤
監事	五島 崇	H23. 3. 1		非常勤

(2) 評議員

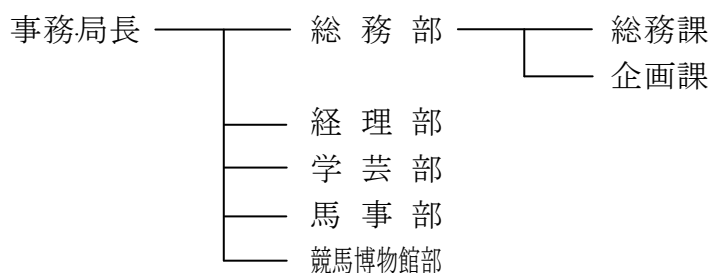
氏名	就任日	退任日	備考
井上 謙吾	H21. 12. 4		
小笠原信夫	H23. 4. 1		
岡田 之良	H19. 10. 3		
岡部 長忠	H23. 4. 1		
小島 薫	H21. 4. 1		
酒井 俊夫	H22. 12. 3		
弦本 三太	H16. 9. 29		
南 雅喜	H11. 4. 1		

(3) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
荒木喜一郎	H21. 4. 16		非常勤

(4) 職員及び組織図（平成 23 年 12 月 31 日現在）

職員 21 名、嘱託 5 名で組織図は以下のとおりです。



2 理事会及び評議員会

(1) 理事会

回数	開催日	議 決 事 項	理 事		議決の 結果
			現在数	出席数	
1	2. 24	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度事業報告について 平成 22 年度収支決算について 	5 名	5 名	全員賛成
2	3. 23	<ul style="list-style-type: none"> 任期満了に伴う評議員の選任について 専務理事の報酬について 	5 名	5 名 書面表 決含む	全員賛成
3	9. 28	<ul style="list-style-type: none"> 財団法人 全国競馬・畜産振興会との事業承継契約の承認について 事業承継に伴う諸規程の整備について 事業承継に伴う事業計画の一部変更について 事業承継に伴う収支予算の一部変更について 常勤役員の報酬について 	5 名	5 名	全員賛成
4	12. 16	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度事業計画について 平成 24 年度収支予算について 	5 名	5 名	全員賛成

(2) 評議員会

回数	開催日	議 決 事 項	評 議 員		議決の 結果
			現在数	出席数	
1	2. 24	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度事業報告について 平成 22 年度収支決算について 監事の選任について 	6 名	6 名 書面表 決含む	全員賛成
2	9. 28	<ul style="list-style-type: none"> 財団法人 全国競馬・畜産振興会との事業承継契約の承認について 事業承継に伴う諸規程の整備について 事業承継に伴う事業計画の一部変更について 事業承継に伴う収支予算の一部変更について 	8 名	8 名 書面表 決含む	全員賛成
3	12. 16	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度事業計画について 平成 24 年度収支予算について 	8 名	8 名 書面表 決含む	全員賛成